

本日のプログラム「坂本新世代育成基金支援贈呈式」担当 新世代委員会

IM終了挨拶

RI第2500地区第7分区 葭本正美 ガバナー補佐

大勢の会員のご参加を頂きありがとうございます御座いました。

研修の方は、道下先生の話のほか、各クラブの多くのメンバーから色々な意見を聞いたのは大変良かった事と思います。力を入れた懇親会の方もお金をかけた分、賑やかに楽しんで頂けた事と存じます。

今年度も残すところ3カ月となりました。分区分区事業に対して、色々なご理解とご協力に感謝とお礼を申し上げます。



創立50周年記念誌について

50周年実行委員会 記録・記念誌委員会 石塚茂樹 委員長

ご無沙汰気味ですが、先ず以って記念誌の発行が遅れた事をお詫び申し上げます。

記念誌作成に当たり、座談会、テーブルおこし、写真撮り、その他いろいろあり、お手伝い頂いてようやく出来上がりました。表紙は札幌まで送りコーティングをかけて、写真の部分もすっきり綺麗に見える様に、高めの紙を使わせて頂きました。

50周年の委員長としての重みを感じながらやって参りました、多くの方々を載せたかったのですが、紙面の関係で載せきれない所もあり、編集など大変な面もありましたが、小林実行委員長に大いに手助けを頂いたやっと出来上がったという事です。

50年の歴史の何とか残していきたいという事で、発足当時からの会長ほか主要事業・動向・活動を全て載せさせて頂きました。

50年の中で、会員が515名居りました。入会順に全員網羅致しました。

これらも小林実行委員長にお願いして、入会日、大会日まで表を作って頂きました。相当の時間が掛かったものと思います。また、50年を振り返れる様な形、内容と致しまして、ロータリーの重み、先輩たちの功績を表現出来るような編集を致しました。苦勞と時間は掛かりましたが、皆様の手元に今日お届けできたので肩の荷が下りて、ホッとした爽やかな気持ちであります。

ご協力頂いた皆様に、心よりお礼を申し上げます。



時間がありませんので、本当に最後のお礼を申し上げます。

いずれにしても発行が随分遅れましたが、足立ガバナー事務所が去年6月末に終わったあとの残務整理があり、これに取り掛かったのが9月でした、年内に何とかしたいと思いましたが、一寸遅れてしまいました。

決算を見て頂くと、総額で1150万円ほど掛かっており、半分は記念事業であり、講演会、寄贈、寄付などに使っております。

昨年6月6日に始まって今日で終わったという事です。皆様に心からお礼を申し上げ、実行委員会の任を解かして頂きます。ありがとう御座いました。



『 坂本新世代育成基金支援・褒賞贈呈式 』 新世代・財団・米山部門担当 坂入 信行 理事

新世代田中和紀委員長に代わりまして、進行させていただきます。

坂本新世代育成基金支援に対して、会員及び関係機関より4団体の推薦がありました。規約により、毎年度の支援・褒賞は3団体以内、その金額は1団体10万円以内を限度とする事で、決定を致しました。

基金の原資は、篤志寄付、小口寄付、財団認証ポイント利用充当寄付金、クラブニコニコ会計より拠出、その他外部の方からも沢山の寄付を頂いております。4月5月は基金の充実を図るため、募金重点月間とされており、担当委員会より声を掛けられましたならば、快くご協力をお願い致します。



早速ですが、高橋邦弘会員が認証ポイントの全てを寄付入金されました。有難う御座います。それでは3団体に支援贈呈致します。

- ・ 釧路地区自閉症・発達障害支援センターをつくる会様、・ ゆっくり子育て講座実行委員会様、・ 釧路市児童館地域活動連絡協議会様、前へどうぞ。

(1) 釧路地区自閉症・発達障害支援センターをつくる会(ゼペットの会)

代表者名 佐藤みちる 代理・事務局長小玉七重 会員数60名

住所連絡 釧路市浪花町9-4-207 TEL25-6802

推薦機関 釧路市福祉部 福祉部長 鈴木 信

決定金額 10万円(単年度)

内容 会員は発達障害を持つ人達の保護者及び支援者で、発達障害を持つ人達が地域で暮らす為の支援に有効な情報を集め集め必要とする人々に伝える活動をしている。自閉症について市民を対象とした学習会を毎年開催。今年度は香川大学より講師を招き開催の予定ですが財源が厳しく支援を要望している。

(2) ゆったり子育て講座実行委員会

代表者名 櫛部あつ子 会員数 50 ~ 200 名 (講座毎に募集)

住所連絡 釧路市緑ヶ岡 1 丁目 22 番 1 号 TEL 42 - 7989

推薦機関 釧路短期大学 学長 西塔正一

決定金額 10 万円 (単年度)

内容 平成 12 年より毎年各界で活躍されている方々 (児童精神科医、大学教授、絵本作家など) を講師に招き、子育てをする母親に対して学びの場として年 5 ~ 6 回の講座を開催している。講演会、研修会の費用などに支援を要望している。

(3) 釧路市児童館地域活動連絡協議会

代表者名 松尾千穂 会員数 1,451 名

住所連絡 釧路市緑ヶ岡 6 - 6 - 9 TEL 46 - 0914

推薦機関 釧路市 こども保健部こども未来課こども未来づくり担当

決定金額 10 万円 (単年度)

内容 釧路市内の児童館母親クラブの相互連携、交流を深め児童の健全育成を図るために発足。前年度、北海道地域活動連絡協議会の指導者研修会を開催し、独自のけんしゅうを事業が行う事が出来なかった。来年度は会員の資質を深める為の講演会を開催したい。予算の面で支援を要望。

母親クラブ 4 つの活動

- 1, 親子及び世代間の交流・文化活動
- 2, 児童養育に関する研修活動
- 3, 児童事故防止のための活動
- 4, その他、児童福祉の向上に寄与する活動